募集代理店

三井住友信託銀行

アンスウィート
Ensuite
変額個人年金保険(07)終身D3型

引受保険会社

アクサ生命保険株式会社
redefining / standards

特別勘定（世界分散型４０ＣＭ/世界分散型２０ＣＭ）

月次運用実績レポート

2014年12月

三井住友トラスト・アセットマネジメント
SUMITOMO MITSUI TRUST ASSET MANAGEMENT

【利用する投資信託の委託会社】 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社は、2012年4月に中央三井アセットマネジメント株式会社と住信アセットマネジメント株式会社が合併して誕生した投資信託委託会社です。現在、投資信託委託業務を中心に個人および法人のお客様に多様な商品サービスを提供しており、変額個人年金保険向け投資信託については特に力を入れています。

- アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)終身D3型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。
  特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
  また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしていますので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07)終身Ｄ３型
特別勘定の月次運用実績レポート（2014年12月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
　また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社である三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社が作成した運用環境を、
　アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境　[2014年12月]

【日本株式市場】

日本株式市場は原油安などから不安定な値動きとなり、TOPIX（東証株価指数）は前月末比▲0．20%の1，407．51ポイントで月末を迎えました。
原油価格の下落やロシア・ルーブルの急落などが懸念され、中旬にかけて下落した国内株式市場でしたが、その後は原油安やルーブルの下落が一服したことに加え、FOMC（米連邦公開市場委員会）後の声明文を好感して米国株式市場が史上最高値を更新したことから、月末にかけて反発しました。
業種別では、資源価格の下げ止まり期待から鉱業（前月末比+6．51%）が最も上昇した一方、個別銘柄の業績悪化懸念が強まった情報・通信業（同▲3．48%）が最も下落しました。

【外国株式市場】

MSCIコクサイ指数（除く日本、円ベース、税引後配当込）は、急落した後、前月末の水準付近まで値を戻しました。米国株式市場は、原油価格急落がロシアの通貨危機や産油国経済の大幅減速につながるリスクが意識され一時大きく下落しましたが、イエレンFRB（米連邦準備理事会）議長が利上げを急がない姿勢を改めて示唆したことなどから株価は急速に戻し、NYダウは前月末比0．03%下落の17，823．07ドルで終了しました。欧州株式市場も、米国株式市場とほぼ同様の展開となりましたが、ギリシャの政治的混乱への懸念と景気回復力の弱さが意識されて下落しました。市場別騰落率は、英FT100が前月末比2．33%下落、仏CAC40が同2．67%下落、独DAXが同1．76%下落となりました。

【日本債券市場】

国内債券市場では、金利は低下（価格は上昇）しました。新発10年国債利回り0．330%となりました（前月末は0．420%）。月初に米国格付会社が日本国債の格付を引き下げたことを受けて国内債券への売り圧力の強まりが懸念されましたが、日銀の大規模な国債購入を背景に需給が良好な中、格下げの影響は限定的なものとなり金利は低下余地を探る展開となりました。その後も、警戒感の強かった30年国債の入札が無難な結果となったことや、原油価格の急落を背景に世界的に金利が低下した影響などから国内金利は低下基調で推移しました。月末の10年国債利回りは0．330%で終了しました。
日銀はマネタリーベースが年間約80兆円に相当するペースで増加するよう金融市場調節を行いました。無担保コール（翌日物）は概ね0．0～0．1%近辺で推移しました。

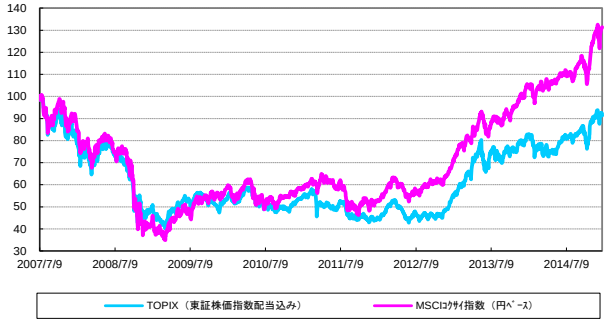
【外国債券市場】

シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、0．10%上昇しました。米国10年国債利回りは、一旦低下した後、FRB（米連邦準備理事会）によるフォワード・ガイダンス（将来の金融政策指針）の変更を受けて利上げ開始時期が意識されたことなどから上昇し、月末は2．171%となりました（前月末は2．164%）。ドイツ10年国債利回りは、ギリシャの政治混乱への懸念や原油価格の急落などによる投資家のリスク回避姿勢から低下し、月末には0．541%となりました（前月末は0．700%）。FRBは、FF（フェデラル・ファンド）金利の誘導目標を据え置き、年0．0～0．25%を維持しました。ECB（欧州中央銀行）は政策金利を据え置き、年0．05%を維持しました。

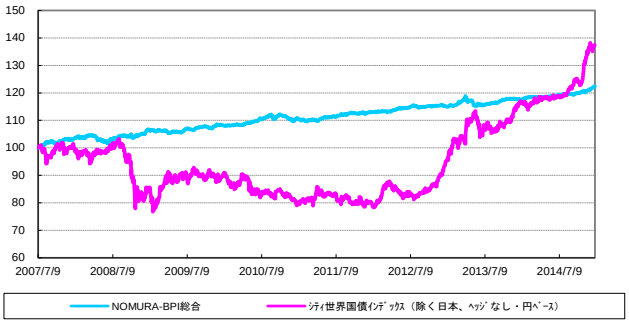
【外国為替市場】

米ドル／円相場は、米国の利上げ開始時期が意識されたことや米国の2014年7－9月期実質GDP（国内総生産）成長率の上方修正などを受けて円安・ドル高が進行し、月末には円は対ドルで前月末比2円32銭（1．96%）円安・ドル高の1ドル＝120円55銭となりました。ユーロ／円相場は、ECB（欧州中央銀行）が追加金融緩和を見送ったことで一時ユーロが買い戻されましたが、その後は2回目の長期資金供給オペに対する応札が低調となり、追加金融緩和期待が高まったことなどから円高・ユーロ安が進行し、円は対ユーロで前月末比66銭（0．45%）円高・ユーロ安の1ユーロ＝146円54銭となりました。

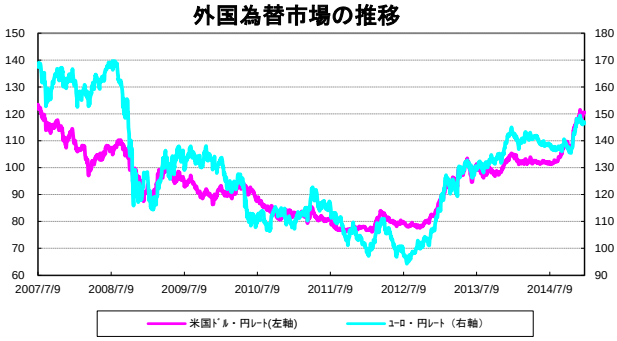
日本と外国の株式市場の推移
＊下記グラフは2007年7月9日を100として指数化しています。



日本と外国の債券市場の推移
＊下記グラフは2007年7月9日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：三菱東京UFJ銀行公表TTM

変額個人年金保険(07)終身Ｄ３型
特別勘定の月次運用実績レポート　（2014年12月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
　また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
　後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2014年12月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型40CM	● 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ない、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドの基本配分比率は以下の通りとし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行ないます。 日本株式マザーファンド20%、日本債券マザーファンド30%、 外国株式マザーファンド20%、外国債券マザーファンド30% *1 *1: 当ファンドは、外貨建債券資産および外国債券マザーファンドの組入れに伴う実質組入外貨建資産の50%部分の為替変動リスクに対しては、原則として為替ヘッジを行ないます。 ● 実際の資産配分については、基本配分比率に対して一定の変動許容幅を設け、その範囲内で調整を行います。 ● 当ファンドの主なリスク 株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、為替リスク
利用する投資信託	
VAポートフォリオ40 （適格機関投資家専用）	

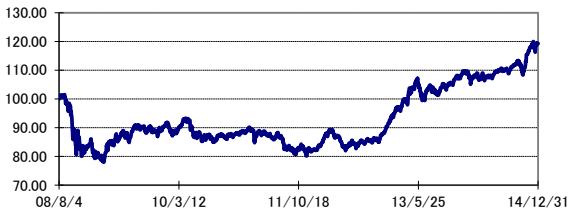
特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型20CM	● 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ない、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドの基本配分比率は以下の通りとし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行ないます。 日本株式マザーファンド10%、日本債券マザーファンド40%、 外国株式マザーファンド10%、外国債券マザーファンド40% *2 *2: 当ファンドは、外貨建債券資産および外国債券マザーファンドの組入れに伴う実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては、原則として為替ヘッジを行ないます。 ● 実際の資産配分については、基本配分比率に対して一定の変動許容幅を設け、その範囲内で調整を行います。 ● 当ファンドの主なリスク 株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、為替リスク
利用する投資信託	
VAポートフォリオ20 （適格機関投資家専用）	

・「ファミリーファンド方式」とは、投資家から投資された資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資して、その実質的な運用はマザーファンドで行う仕組みのことをいいます。

■特別勘定のユニット・プライスの推移

※ 特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

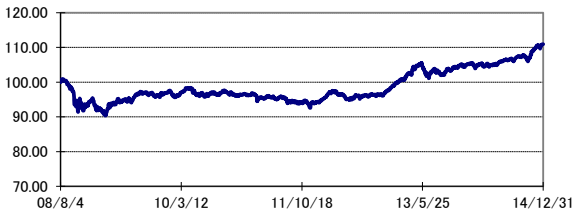
世界分散型40CM



・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日（2008年8月4日）を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス		騰落率	
2014年12月末	119.19	過去1ヶ月	0.55%
2014年11月末	118.54	過去3ヶ月	5.54%
2014年10月末	113.02	過去6ヶ月	8.47%
2014年9月末	112.94	過去1年	8.62%
2014年8月末	111.16	過去3年	44.78%
2014年7月末	110.65	設定来	19.19%

世界分散型20CM



・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日（2008年8月4日）を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス		騰落率	
2014年12月末	110.90	過去1ヶ月	0.49%
2014年11月末	110.36	過去3ヶ月	2.97%
2014年10月末	107.93	過去6ヶ月	4.28%
2014年9月末	107.71	過去1年	5.42%
2014年8月末	107.31	過去3年	17.57%
2014年7月末	106.71	設定来	10.90%

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。
・受取総額保証金額が最低保証されるのは、特別勘定終身年金でお受け取りいただく場合に限られます。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型40CM	
	金額（千円）	比率
その他有価証券	13,231,574	98.7%
現預金・その他	175,142	1.3%
合計	13,406,716	100.0%

項目	世界分散型20CM	
	金額（千円）	比率
その他有価証券	708,908	97.4%
現預金・その他	18,559	2.6%
合計	727,468	100.0%

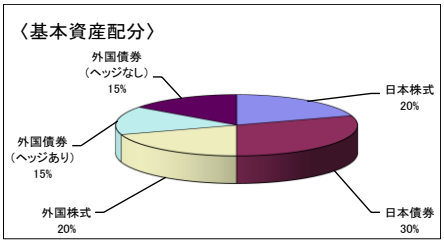
・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

変額個人年金保険(07)終身Ｄ３型
特別勘定の月次運用実績レポート（2014年12月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
  また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、
  利用する投資信託の委託会社である三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、
  内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ＶＡポートフォリオ４０（適格機関投資家専用）の運用状況　[2014年12月末日現在]

■ファンドの特色



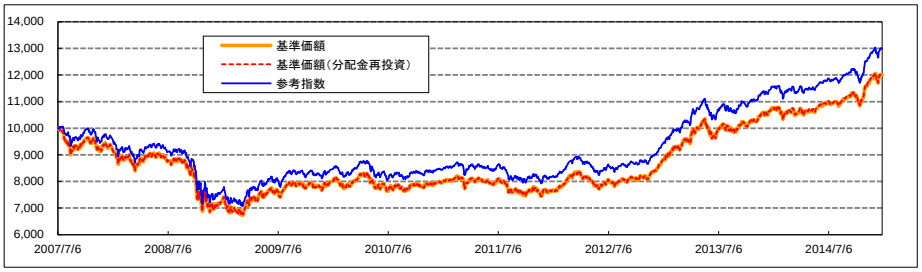
当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ない、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク（運用成果を判断するうえで基準とする指数）と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

日本株式マザーファンド：「TOPIX（東証株価指数）」※1
※1ただし、配当込み指数を使用しています。
日本債券マザーファンド：「NOMURA－BPI総合」
外国株式マザーファンド：「MSCIコクサイ指数(円ベース)」※2
※2ただし、配当込み指数を使用しています。
外国債券マザーファンド：「シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）」※3
※3「VAポートフォリオ40（適格機関投資家専用）」においては、外国債券マザーファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入外貨建資産の50%部分について原則として為替ヘッジを行いますので、上記合成指数の算出に際しては「シティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）」も併せて使用します。

■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、VAポートフォリオ40（適格機関投資家専用）の設定日（2007年7月9日）の前営業日を10，000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額（分配金再投資）は、信託報酬（純資産総額に対し、年率0．3024%程度（税抜0．28%程度））控除後の値です。
- 基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
- 参考指数は、TOPIX（東証株価指数）20%、NOMURA－BPI総合30%、MSCIコクサイ指数（円ベース）20%、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）15%、およびシティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）15%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2014年12月30日	前月末	前 月 末 比
基準価額	12,005円	11,913円	+92円
純資産総額（百万円）	23,742	24,083	-341

	基準価額	日付
設定来高値	12,061円	2014年12月8日
設定来安値	6,724円	2009年3月10日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式マザーファンド	20.0%	19.7%
日本債券マザーファンド	30.0%	29.9%
外国株式マザーファンド	20.0%	20.1%
外国債券マザーファンド(ヘッジあり)	15.0%	14.8%
外国債券マザーファンド(ヘッジなし)	15.0%	15.2%
コール・その他	0.0%	0.3%
合計	100.0%	100.0%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率です。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「コール・その他」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	+0.77%	+6.28%	+10.02%	+11.60%	+57.04%	+20.28%
参考指数	+0.94%	+6.44%	+10.25%	+12.21%	+58.89%	+29.89%
差	-0.17%	-0.16%	-0.24%	-0.60%	-1.85%	-9.61%

- ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■分配金実績（税引前）

・下記は、1万口当たりの税引前分配金実績です。

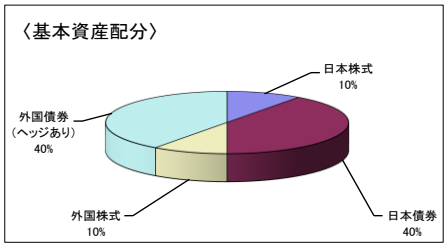
	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2014年2月21日	2013年2月21日	2012年2月21日	2011年2月21日	2010年2月22日	2009年2月23日	
分配金	20.00円	0.00円	0.00円	0.00円	0.00円	0.00円	20円

変額個人年金保険(07)終身Ｄ３型
特別勘定の月次運用実績レポート（2014年12月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
  また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、
  利用する投資信託の委託会社である三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、
  内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ＶＡポートフォリオ２０（適格機関投資家専用）の運用状況　[2014年12月末日現在]

■ファンドの特色



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ない、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク（運用成果を判断するうえで基準とする指数）と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

日本株式マザーファンド：「TOPIX（東証株価指数）」※1
※1ただし、配当込み指数を使用しています。
日本債券マザーファンド：「NOMURA－BPI総合」
外国株式マザーファンド：「MSCIコクサイ指数(円ベース)」※2
※2ただし、配当込み指数を使用しています。
外国債券マザーファンド：「シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）」※3
※3「VAポートフォリオ20（適格機関投資家専用）」においては、外国債券マザーファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入外貨建資産について原則として為替ヘッジを行いますので、上記合成指数の算出に際しては「シティ世界国債インデッ クス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）」を使用します。

■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

- グラフは、VAポートフォリオ20（適格機関投資家専用）の設定日（2007年7月9日）の前営業日を10，000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額（分配金再投資）は、信託報酬（純資産総額に対し、年率0．3024%程度（税抜0．28%程度））控除後の値です。
- 基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
- 参考指数は、TOPIX（東証株価指数）10%、NOMURA－BPI総合40%、MSCIコクサイ指数（円ベース）10%、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）40%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2014年12月30日	前月末	前 月 末 比
基準価額	12,156円	12,068円	+88円
純資産総額（百万円）	1,467	1,468	-1

	基準価額	日付
設定来高値	12,156円	2014年12月29日
設定来安値	8,489円	2009年3月10日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式マザーファンド	10.0%	9.8%
日本債券マザーファンド	40.0%	39.8%
外国株式マザーファンド	10.0%	10.0%
外国債券マザーファンド(ヘッジあり)	40.0%	39.5%
コール・その他	0.0%	0.9%
合計	100.0%	100.0%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率です。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「コール・その他」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	+0.73%	+3.72%	+5.79%	+8.42%	+27.45%	+21.56%
参考指数	+0.82%	+3.81%	+5.98%	+8.85%	+28.89%	+31.22%
差	-0.09%	-0.09%	-0.20%	-0.43%	-1.45%	-9.66%

- ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

■分配金実績（税引前）

・下記は、1万口当たりの税引前分配金実績です。

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2014年2月21日	2013年2月21日	2012年2月21日	2011年2月21日	2010年2月22日	2009年2月23日	
分配金	0.00円	0.00円	0.00円	0.00円	0.00円	0.00円	0円

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

変額個人年金保険(07)終身Ｄ３型
特別勘定の月次運用実績レポート（2014年12月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
  また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、
  利用する投資信託の委託会社である三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、
  内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

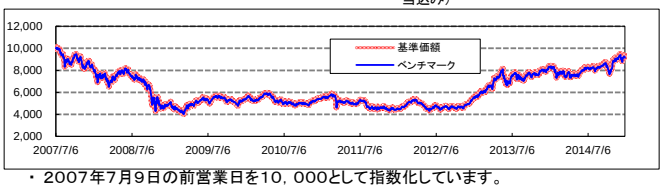
各マザーファンドの運用状況　[2014年12月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

日本株式マザーファンド

※ ベンチマーク /BM ： TOPIX（東証株価指数配当込み）

純資産総額:　248,488 百万円



・ 2007年7月9日の前営業日を10，000として指数化しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.09%	+6.30%	+12.49%	+10.35%	+105.99%	-7.62%
ベンチマーク	-0.07%	+6.27%	+12.45%	+10.27%	+105.78%	-8.05%
差	-0.02%	+0.03%	+0.04%	+0.07%	+0.21%	+0.43%

・ 騰落率は、2007年7月9日以降の情報について記載しています。
・ 設定来の騰落率は、2007年7月9日の前営業日を起点として計算しています。

・ 下記比率は、純資産総額に対する当該評価金額等の比率となります。

組入上位10銘柄　　組入銘柄数:　1,792　銘柄

	銘柄	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	5.02%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.53%
3	ソフトバンク	情報・通信業	1.81%
4	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.57%
5	本田技研工業	輸送用機器	1.53%
6	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.33%
7	ＫＤＤＩ	情報・通信業	1.23%
8	日本電信電話	情報・通信業	1.15%
9	キヤノン	電気機器	1.07%
10	日立製作所	電気機器	1.04%
合計			18.28%

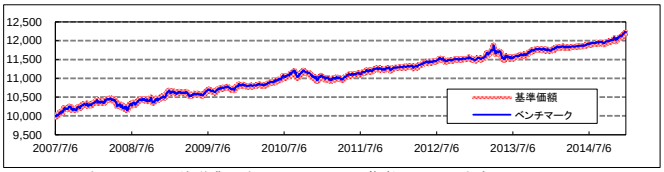
組入上位10業種

	業種	比率	BM構成比
1	電気機器	12.90%	13.04%
2	輸送用機器	11.85%	11.99%
3	銀行業	8.95%	9.05%
4	情報・通信業	6.65%	6.73%
5	化学	5.96%	6.03%
6	機械	5.21%	5.28%
7	医薬品	4.43%	4.47%
8	卸売業	4.13%	4.17%
9	小売業	4.11%	4.16%
10	陸運業	3.98%	4.03%
合計		68.16%	68.95%

日本債券マザーファンド

※ ベンチマーク /BM ： NOMURA－BPI総合

純資産総額:　361,754 百万円



・ 2007年7月9日の前営業日を10，000として指数化しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	+1.04%	+2.11%	+2.68%	+4.26%	+8.28%	+22.18%
ベンチマーク	+1.04%	+2.11%	+2.69%	+4.25%	+8.30%	+22.29%
差	-0.01%	-0.00%	-0.00%	+0.01%	-0.02%	-0.11%

・ 騰落率は、2007年7月9日以降の情報について記載しています。
・ 設定来の騰落率は、2007年7月9日の前営業日を起点として計算しています。

・ 下記比率は、純資産総額に対する当該評価金額等の比率となります。

組入上位10銘柄　　組入銘柄数:　880　銘柄

	銘柄	クーポン	償還日	比率
1	第106回利付国債（5年）	0.200%	2017年9月20日	1.64%
2	第335回利付国債（10年）	0.500%	2024年9月20日	1.12%
3	第332回利付国債（10年）	0.600%	2023年12月20日	1.12%
4	第116回利付国債（5年）	0.200%	2018年12月20日	1.03%
5	第334回利付国債（10年）	0.600%	2024年6月20日	1.03%
6	第333回利付国債（10年）	0.600%	2024年3月20日	1.02%
7	第117回利付国債（5年）	0.200%	2019年3月20日	1.02%
8	第105回利付国債（5年）	0.200%	2017年6月20日	0.98%
9	第121回利付国債（5年）	0.100%	2019年9月20日	0.94%
10	第328回利付国債（10年）	0.600%	2023年3月20日	0.89%
合計				10.81%

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

債券種別資産構成比

種別	比率	BM構成比
国債	79.42%	79.81%
地方債	6.82%	6.90%
政府保証債	3.68%	3.76%
金融債	0.92%	0.93%
事業債	6.42%	6.54%
円建外債	0.62%	0.65%
MBS債	1.33%	1.28%
ABS債	0.14%	0.12%
コール・その他	0.65%	0.00%
合計	100.00%	100.00%

ポートフォリオプロフィール

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	0.33%	0.33%	0.00%
平均クーポン	1.26%	1.27%	0.00%
平均残存年数	8.74	8.68	0.05
デュレーション	8.07	8.02	0.05

・ 利回り・残存年数は、債券現物部分について計算しております。
・「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
・「デュレーション」とは、投資した債券の利子及び元本の平均回収期間を表す指標です。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

変額個人年金保険(07)終身Ｄ３型
特別勘定の月次運用実績レポート（2014年12月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
  また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、
  利用する投資信託の委託会社である三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、
  内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

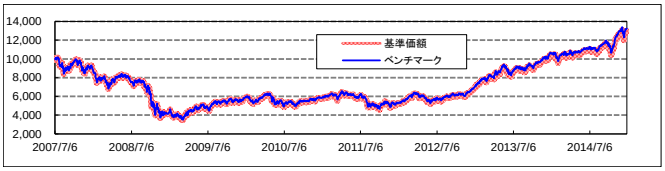
各マザーファンドの運用状況　[2014年12月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

外国株式マザーファンド

※ ベンチマーク /BM：MSCIコクサイ指数（円ベース配当込み）

純資産総額:　247,861 百万円



・2007年7月9日の前営業日を10，000として指数化しています。

・下記比率は、純資産総額に対する当該評価金額等の比率となります。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	+1.32%	+13.00%	+19.76%	+23.60%	+148.71%	+29.72%
ベンチマーク	+1.68%	+13.19%	+19.88%	+24.30%	+150.68%	+32.59%
差	-0.36%	-0.18%	-0.12%	-0.70%	-1.97%	-2.87%

・騰落率は、2007年7月9日以降の情報について記載しています。
・設定来の騰落率は、2007年7月9日の前営業日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄　組入銘柄数:　1,323　銘柄

	銘柄	国名	業種	比率
1	APPLE INC	米国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.10%
2	EXXON MOBIL	米国	エネルギー	1.22%
3	MICROSOFT CORP	米国	ソフトウェア・サービス	1.14%
4	JOHNSON & JOHNSON	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.91%
5	WELLS FARGO & CO	米国	銀行	0.85%
6	GENERAL ELECTRIC CO	米国	資本財	0.79%
7	PROCTER & GAMBLE CO	米国	家庭用品・パーソナル用品	0.77%
8	NESTLE SA - REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	0.73%
9	JPMORGAN CHASE & CO	米国	銀行	0.73%
10	NOVARTIS	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.66%
合計				9.91%

組入上位10業種

	業種	比率
1	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.28%
2	銀行	9.13%
3	エネルギー	8.15%
4	ソフトウェア・サービス	6.80%
5	資本財	6.78%
6	食品・飲料・タバコ	5.83%
7	素材	4.76%
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.36%
9	保険	4.08%
10	各種金融	3.89%
合計		63.05%

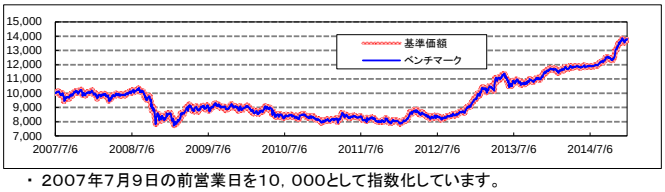
組入上位10カ国

	国名	比率	BM構成比
1	米国	60.36%	63.66%
2	英国	8.13%	8.52%
3	カナダ	4.03%	4.30%
4	フランス	3.66%	3.93%
5	スイス	3.59%	3.80%
6	ドイツ	3.56%	3.74%
7	オーストラリア	2.89%	3.06%
8	スペイン	1.36%	1.44%
9	香港	1.21%	1.26%
10	スウェーデン	1.19%	1.26%

外国債券マザーファンド

※ ベンチマーク /BM：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

純資産総額:　267,262 百万円



・2007年7月9日の前営業日を10，000として指数化しています。

・下記比率は、純資産総額に対する当該評価金額等の比率となります。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	+1.08%	+9.85%	+15.91%	+16.98%	+71.51%	+37.56%
ベンチマーク	+1.44%	+10.14%	+16.11%	+17.56%	+72.02%	+37.99%
差	-0.36%	-0.29%	-0.21%	-0.58%	-0.51%	-0.43%

・騰落率は、2007年7月9日以降の情報について記載しています。
・設定来の騰落率は、2007年7月9日の前営業日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄　組入銘柄数:　652　銘柄

	銘柄	国名	クーポン	償還日	比率
1	T 0.375% 03/15/16	米国	0.375%	2016年3月15日	0.68%
2	T 2.625% 11/15/20	米国	2.625%	2020年11月15日	0.61%
3	T 2.625% 02/29/16	米国	2.625%	2016年2月29日	0.60%
4	T 3.625% 02/15/20	米国	3.625%	2020年2月15日	0.49%
5	T 2.75% 02/15/24	米国	2.750%	2024年2月15日	0.43%
6	T 2.25% 03/31/16	米国	2.250%	2016年3月31日	0.42%
7	T 0.625% 08/15/16	米国	0.625%	2016年8月15日	0.41%
8	T 0.625% 10/15/16	米国	0.625%	2016年10月15日	0.41%
9	T 0.625% 12/15/16	米国	0.625%	2016年12月15日	0.41%
10	FRTR 5.5% 04/25/29	フランス	5.500%	2029年4月25日	0.40%
合計					4.85%

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率をあらわします。

組入上位10カ国

	国名	比率	BM構成比
1	米国	38.70%	39.66%
2	イタリア	9.87%	10.14%
3	フランス	9.86%	10.11%
4	ドイツ	8.24%	8.46%
5	英国	8.20%	8.45%
6	スペイン	5.40%	5.55%
7	ベルギー	2.67%	2.73%
8	オランダ	2.65%	2.71%
9	カナダ	2.26%	2.33%
10	オーストリア	1.65%	1.69%

ポートフォリオプロフィール

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	1.31%	1.28%	0.03%
平均クーポン	3.14%	2.96%	0.18%
平均残存年数	7.85	7.82	0.02
デュレーション	6.56	6.57	0.00

・利回り・残存年数は、債券現物部分について計算しております。
・「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
・「デュレーション」とは、投資した債券の利子及び元本の平均回収期間を表す指標です。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

変額個人年金保険(07)終身Ｄ３型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】
・この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
・特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っており、株式および公社債等の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。
・特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
・運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
・特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者が、ご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【お客様にご負担いただく費用について】
●この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。
一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目		費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要な費用	一時払保険料に対して5．0%	特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立(運用)期間中および特別勘定終身年金支払期間中】

項目		費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要な費用	特別勘定の積立金額に対して年率2．55%	積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1／365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用に必要な費用	投資信託の純資産額に対して年率0．3024%程度(税抜0．28%程度)＊	特別勘定にて利用する投資信託における純資産総額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1／365を、毎日、投資信託の純資産総額から控除します。

＊ 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。
信託報酬の他、お客様にご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがいまして、お客様はこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】

※ 一般勘定で運用する年金とは、確定年金・保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・一時金付終身年金を意味します。(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目		費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して1．0%＊	年金支払日に責任準備金から控除します。

＊ 年金管理費は、将来変更になる可能性があります。

変額個人年金保険(07)終身D3型「アンスウィート」は現在販売しておりません。

【取扱者 (生命保険募集人)】
三井住友信託銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020　東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.axa.co.jp/